

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

単位数： 2 単位

教科担当者： (A～H組：高橋 菜穂子)

使用教科書： 詳述公共 実教出版

教科 公民

の目標：

現代の諸課題についての基礎的な概念や理論を理解し、資料活用能力を高めることで社会とのつながりを意識した「生きる力」を高める。

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

「幸福、正義、公正」の観点から合意形成を行う基礎的な力を養い、持続可能な社会づくりに主体的に関わる態度や自覚を涵養する。

「1人1台端末」を活用し、自らの問題意識を探究することで社会的現象等を多角的、多面的に考え、学び続ける力を育む。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
中学校までの学習内容をもとに、2年後には成人かつ主権者になることを踏まえ、社会に主体的に参画するために必要な概念や理論、公共的な空間における基本的原理の修得を目指す。法、政治、経済、国際社会の基本的なしくみを理解し、課題解決に向かう力を育む。	持続可能な社会づくりに主体的に参画する態度、意識を醸成する。政治、経済、国際社会における今日的な課題や人間の生き方について多面的に考察し、議論やレポート作成等を通して、社会的な合意形成を行う力を高める。	社会的現象に向き合い、自ら「問い」や「課題」を設定する力を育む。探究学習等を通して情報活用能力や他者と協働する力を高め、社会の諸課題に関心を持ち学び続ける態度、意識を涵養する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態 配当			
				知	思	態	時数
1 学 期	第1編 公共の屋 第1章 社会を作る私たち 【知識及び技能】 青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を理解する。世界の宗教や日本の思想、伝統文化などにふれることで様々な価値観を尊重することを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間を作る私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 青年期の意義、青年期と自己形成の課題、職業生活と社会参加、現代社会と青年の生き方、日本の伝統文化と私たち ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を理解する。世界の宗教や日本の思想、伝統文化などにふれることで様々な価値観を尊重することを理解している。 【思考・判断・表現】 自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間を作る私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				5
	第2章 人間としてよく生きる その1 【知識及び技能】 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生命倫理や環境倫理の問題を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方を踏まえ、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 ギリシア思想、宗教の教え、人間の尊重 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 生命倫理や環境倫理の問題を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方を踏まえ、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				6
	定期考査						1
	第2章 人間としてよく生きる その2 第3章 民主社会の倫理 【知識及び技能】 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生命倫理や環境倫理の問題を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方を踏まえ、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 人間の自由と尊厳、個人と社会、主体性の確立、他社の尊厳、公正な社会、人間の尊厳と平等、自由・権利と責任・義務 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 生命倫理や環境倫理の問題を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方を踏まえ、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				5
期 末 考 査 ま で	第4章 民主国家における基本原理 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本原理について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「多数決の長所・短所」などを事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、公共的な空間における基本原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 人権保障の発展と民主政治の成立、抗民主主義と民主政治の発展 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、など、公共的な空間における基本原理について理解している。 【思考・判断・表現】 「多数決の長所・短所」などを事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、公共的な空間における基本原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				6
定期考査						1	
第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち	第1章 日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 法や規範の意義及び役割、平和主義のとらえ方の変化、大日本帝国憲法と日本国憲法との違い、日本国憲法の平等権、自由権、社会権、「新しい人権」などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本における平和主義に関し、歴史的な変遷と、これからの安保体制の在り方について多面的・多角的に考察、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に法的な分野の内容に関係する。よりよい社会の実現を視野に、主体的に解決しようとする。	・指導事項 日本国憲法の成立、平和主義とわが国の安全、基本的人権の保障、人権の広がり ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 法や規範の意義及び役割、平和主義のとらえ方の変化、大日本帝国憲法と日本国憲法との違い、日本国憲法の平等権、自由権、社会権、「新しい人権」などについて理解している。 【思考・判断・表現】 日本における平和主義に関し、歴史的な変遷と、これからの安保体制の在り方について多面的・多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に法的な分野の内容に関係する。よりよい社会の実現を視野に、主体的に解決しようとしている。				4
	第2章 日本の政治機構と政治参加 【知識及び技能】 日本の統治機構や、日本の国会、内閣及び裁判所のしくみと働き、行政権の特徴と行政権の拡大の問題点、刑事裁判と民事裁判の違い、地方自治や選挙のしくみ、民主政治において、世論が果たす役割と課題について理解させる。 情報モラルと情報リテラシーの意義について理解させる。	・指導事項 政治機構と国民生活、人権保障と裁判所、地方自治、選挙と政党、政治参加と世論 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日本の統治機構や、日本の国会、内閣及び裁判所のしくみと働き、行政権の特徴と行政権の拡大の問題点、刑事裁判と民事裁判の違い、地方自治や選挙のしくみ、民主政治において世論が果たす役割と課題などについて理解している。 情報モラルと情報リテラシーの意義について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「情報モラル」を重視し、適切なリテラシーを身に付け、公正に判断する。				

2 学 期	中間 考 査 ま で	【思考力、判断力、表現力等】 【知識・技能】 「模擬投票」を事例に、選挙公約に基づき公平・公正に判断することについて多面的・多角的に考察、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に政治的分野について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に解決しようとする。	【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に政治的分野について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に解決しようとしている。					6
	第3章 現代の経済社会 その1 【知識及び技能】 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念、企業の役割とはたらき、戦後の日本の経済の発展の歴史、GDPやGNIなど国の経済をはかる「ものさし」、財政と租税のしくみと機能について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「市場経済の機能と限界」を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 経済社会の形成と変容、市場の仕組み、現代の企業 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念、企業の役割とはたらき、戦後の日本の経済の発展の歴史、GDPやGNIなど国の経済をはかる「ものさし」、財政と租税のしくみと機能などについて理解している。 【思考・判断・表現】 「市場経済の機能と限界」を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。					3
	定期 考 査							1
期 末 考 査 ま で	第3章 現代の経済社会 その2 【知識及び技能】 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念、企業の役割とはたらき、戦後の日本の経済の発展の歴史、GDPやGNIなど国の経済をはかる「ものさし」、財政と租税のしくみと機能について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「市場経済の機能と限界」を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 経済成長と景気変動、金融機関の働き、政府の役割と財政・租税 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念、企業の役割とはたらき、戦後の日本の経済の発展の歴史、GDPやGNIなど国の経済をはかる「ものさし」、財政と租税のしくみと機能などについて理解している。 【思考・判断・表現】 「市場経済の機能と限界」を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。					7
	第4章 経済活動の在り方と国民福祉 【知識及び技能】 日本経済の歴史とこれからの課題、中小企業と農業、公害と環境保全、日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化について理解させる。 社会保障制度の歴史的経過を把握させ、制度の内容と課題について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「雇用と労働」を事例に、労働者の権利や労働契約を巡る法規制の形態について考察、表現させる。 「財政・租税の役割/社会保障」を事例に、日本の社会保障や財政に係わる資料等を読み取って、循環可能な社会保障制度の在り方について、考察、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 日本経済の歩みと近年の課題、中小企業と農業、公害防止と環境保全、消費者問題、労働問題と雇用、社会保障 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日本経済の歴史とこれからの課題、中小企業と農業、公害と環境保全、日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化などについて理解している。 社会保障制度の歴史的経過を把握させ、制度の内容と課題について理解している。 【思考・判断・表現】 「雇用と労働」を事例に、労働者の権利や労働契約を巡る法規制の形態について考察、表現している。「財政・租税の役割/社会保障」を事例に、日本の社会保障や財政に係わる資料等を読み取って、循環可能な社会保障制度の在り方について、考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。					6
	定期 考 査							1
3 学 期	第5章 国際政治の動向と課題 【知識及び技能】 国際法、国家安全保障と国際機関、国際政治の変遷、日本の在り方などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 国際政治に関する諸資料に基づいて多面的・他惡的に考察、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際政治の現状をもとに、日本がどのように国際貢献すべきか、主体的に考えさせ意見を持たせる。	・指導事項 国家社会における政治と法、国家安全保障と国際連合、冷戦終結後の国際政治、軍備競争と軍備縮小、異なる人種・民族との共存、国際平和と日本 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国際法、国家安全保障と国際機関、国際政治の変遷、日本の在り方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 国際政治に関する諸資料に基づいて多面的・他惡的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の国際政治の現状をもとに、日本がどのように国際貢献すべきか、主体的に考え意見を持つようとしている。					9
	A 単元 国際経済の動向と課題 【知識及び技能】 国際経済のしくみ、国際経済体制の変化、地域経済統合と新興国、日本のODAと経済協力などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 国際経済に関する諸資料に基づいて多面的・他惡的に考察、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 SDGsとつなげ、国際経済の課題を主体的に考えさせ意見を持たせる。	・指導事項 国際経済のしくみ、国際経済体制の変化、経済のグローバル化と金融危機、地域経済統合と新興国、日本のODAと経済協力 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国際経済のしくみ、国際経済体制の変化、地域経済統合と新興国、日本のODAと経済協力などについて理解している。 【思考・判断・表現】 国際経済に関する諸資料に基づいて多面的・他惡的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本が国際経済において進むべき方向性について、主体的に考え意見を持つようとしている。					8
	定期 考 査							1

合計
70

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

単位数： 2 単位

教科担当者： (A～H組：高橋 菜穂子)

使用教科書： 詳説 政治・経済 実教出版

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

現代の諸課題についての基礎的な概念や理論を理解し、資料活用能力を高めることで社会とのつながりを意識した「生きる力」を高める。

【思考力、判断力、表現力等】

「幸福、正義、公正」の観点から合意形成を行う基礎的な力を養い、持続可能な社会づくりに主体的に関わる態度や自覚を涵養する。

【学びに向かう力、人間性等】

「1人1台端末」を活用し、自らの問題意識を探究することで社会的現象等を多角的、多面的に考え、学び続ける力を育む。

科目 政治・経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関する現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択、判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して高貴される。国民主権を根拠と公認して、自覚を養い、その権利と義務を固く守り、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 中期 期末 定期 考査 考査 考査	第2編 現代日本の経済 第1章 経済社会の変容 【知識及び技能】 経済社会の形成と変容の基本事項を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 経済活動について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、主体的に探究して経済社会の変容とその課題について考えたことを社会生活に生かす。	・経済活動の意義、経済活動の形成と変容について、理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 経済とは何かを、例えば「コロナ禍からの景気回復」「日銀総裁の交代」などの時事問題も絡めながら、現代社会における経済について理解している。 【思考・判断・表現】 「世界が100人の村だったら？」のような例・テーマを出して話し合わせ、経済を身近に・総合的にとらえられるように考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が経済の担い手になることを自覚させ、解決策などを考えている。	○	○	○	6
	第2章 現代経済のしくみ 【知識及び技能】 経済活動と市場、経済主体と経済循環、経済成長、景気変動、財政の働きと租税の意義、金融の働きと仕組みについて、理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本の経済に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	・経済活動と市場、経済主体と経済循環、経済成長、景気変動、財政の働きと租税の意義、金融の働きと仕組みについて、理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 経済活動と市場、経済成長や景気変動、財政と金融などの基本的知識を理解している。 【思考・判断・表現】 現代日本の経済に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けて考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について考えたことを社会生活に生かすよう考えている。	○	○	○	8
	第3章 現代経済と福祉の向上 【知識及び技能】 日本経済史、中小企業と農業、消費者問題、環境と公害問題、労働問題、社会保障の仕組みについて、理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本の経済に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本経済史、中小企業と農業、消費者問題、環境と公害問題、労働問題、社会保障の仕組みについて考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	・日本経済史、中小企業と農業、消費者問題、環境と公害問題、労働問題、社会保障の仕組みについて、理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 戦後日本経済の変化と各々の時期の課題について整理理解している。 【思考・判断・表現】 イノベーションや少子高齢化なども含め、未来の日本経済を考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本経済史、中小企業と農業、消費者問題、環境と公害問題、労働問題、社会保障の仕組みについて考えたことを社会生活に生かすよう考えている。	○	○	○	1
	第2節 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治 【知識及び技能】 国際社会の変遷、国際法の意義、国連などの国際機構の役割、わが国の安全保障と防衛、国際貢献についてなど理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の国際政治に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会の特長や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	・国際社会の変遷、国際法の意義、国連などの国際機構の役割、わが国の安全保障と防衛、国際貢献についてなど理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 国際連盟・連合との違いなど、国際社会の形成をしっかりと理解している。 【思考・判断・表現】 「世界の中の日本」を、主観的・客観的に両面から多角的・多面的に考え表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自衛隊はあまり絡めず、ウクライナ侵攻の最中、軍備の縮小と拡大の両面から、国際社会の適切なあり方を考えている。	○	○	○	6
定期考査				○	○	○	1
2 学期 中期 期末 定期 考査 考査 考査	第2章 現代の国際経済 【知識及び技能】 貿易の現状と意義、為替相場の変動、国際収支、国際経済機関の役割について、理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の国際経済に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際経済について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国際収支、国際経済機関の役割について、理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 比較生産費説や国際収支表、自由貿易の意義などについて理解している。 【思考・判断・表現】 貧困や環境保全を含めた国際経済と日本について考え表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本が21世紀の国際経済において進べき方向性を探究できる。	○	○	○	6
	第1編 現代日本の政治 第1章 民主政治の基本原則 【知識及び技能】 政治と法の意義、人権保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義についてなど理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の日本政治に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	・政治と法の意義、人権保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義についてなど理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 政治と法の意義、人権保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義についてなど理解している。 【思考・判断・表現】 現代の日本政治に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けて考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えている。	○	○	○	6
	第2章 日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 新旧憲法の違い、平和主義、憲法の基本的人権についてなど理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の日本政治に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	・新旧憲法の違い、平和主義、憲法の基本的人権についてなど理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 新旧憲法の違い、平和主義、憲法の基本的人権についてなど理解している。 【思考・判断・表現】 現代の日本政治に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けて考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えている。	○	○	○	8
	第3章 日本の政治機構 【知識及び技能】 立法・司法・行政、地方自治の仕組みと意義についてなど理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の日本政治に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えている。	・立法・司法・行政、地方自治の仕組みと意義についてなど理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 立法・司法・行政、地方自治の仕組みと意義についてなど理解している。 【思考・判断・表現】 現代の日本政治に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けて考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えている。	○	○	○	8
定期考査				○	○	○	1

期末 考 査 ま で	の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。						
	第3編 現代日本における諸課題の探究 その1 【知識及び技能】 現代日本における政治・経済の諸課題について、必要な知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本における政治・経済の諸課題について、諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 望ましい社会の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	・少子高齢化社会における社会保障の充実と安定化、地域社会の在り方など、について理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 少子高齢化社会における社会保障の充実と安定化、地域社会の在り方についてなど理解している。 【思考・判断・表現】 現代の日本社会に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付け考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 望ましい社会の在り方に及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えている。	○	○	○	6
定期 考 査				○	○		1
3 学 期	第3編 現代日本における諸課題の探究 その2 【知識及び技能】 現代日本における政治・経済の諸課題について、必要な知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本における政治・経済の諸課題について、諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 望ましい社会の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	・多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と起業、歳入歳出両面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現など、について理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と起業、歳入歳出両面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現など、について理解している。 【思考・判断・表現】 現代の日本社会に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付け考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 望ましい社会の在り方に及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えている。	○	○	○	4
	合計						70